



市民平和の会  
草野 勝義 議員

### 問 島原薬草「産学金官」 プロジェクト事業に ついて

**Q** 島原ブランドとして薬草を活用した健康サプリメント等を研究、開発するということが進捗状況は。

**A** 上折橋に製薬会社の研究開発拠点を十月に完成する計画で進めている。研究資材として農業高校の協力を得て薬草のトウキの栽培も始めている。

**Q** この研究所ではどのような事業を行うのか。

**A** 研究開発として、島原の風土を生かした薬草の育成、地元農業高校とのコラボ商品の開発。地元との連携として、健康セミナーの開催やミニ漢方薬局の開設、地元雇用の確保、健康都市島原としての観光との連携。製薬会社としてサプリメントの開発や漢方加工商品の開発、販売等を行う。

### 問 小規模企業への支援強化

**Q** ①小規模企業振興基本法と、②正社員転換・待遇改善実現プランに対する見解は。

**A** ①本市においても従業員二十人以下の小規模事業者が九割以上を占めており、地元経済の土台を支えている。国では平成二十六年に小規模企業振興基金法を策定し、中小企業への政策や支援策を展開している。②非正規雇用労働者のキャリアアップに取り組む事業所に対して国の助成金があり、正社員化コース、人材育成コース、処遇改善コースの三つがある。

**Q** 本市の労働施策の取り組みについて。

**A** 本年度から国のトライアル雇用奨励金制度を活用し、常用雇用を行う市内の事業主に対して市単独で上乘せ支援をする補助金を創設し、正社員化への取り組みを行っている。

#### 【その他の質問項目】

- 本市の防災対策について
- 人口の推移と雇用について
- 投票率向上への対策



チーム I  
中川 忠則 議員

### 問 市役所の岩盤は大丈夫なのか

**Q** 眉山の崩落を受け林野庁に行ったと聞くが目的と成果は。

**A** 地元出身の国会議員に議長とともにお願いし林野庁に要望した。熊本地震の復旧予算準備費の中から眉山五溪下に治山の谷止工を八千九百万円で年度内に整備し、観測機器等も保守、新設等現計予算で対処したいとのことであった。

**Q** 市役所の現在地の地質はどうか。

**A** 礫と砂からなる扇状地堆積物層。半分ぐらいは十メートルほど砂質土である。

**Q** 岩盤は大丈夫なのか。

**A** 支持基盤は十六から二十八メートル地下にある。五カ所は調査をやり直したい。震度七の大地震でも補修ですむ庁舎を設計している。

**Q** 戸籍など国の事務も行っており、補助金制度を新たにつくらないと庁舎建設は進まないのではないか。

**A** 防災機能を持った庁舎を建設するには予算が必要なので、補助制度を活用できるように国にお願いしている。

**Q** 設計料はいくらか。

**A** 管理料は別にして、設計は、基本設計と実施設計で一億二千万円程度である。

### 問 研修企業とのつながりを大切に

**Q** 民間企業派遣研修に手を挙げた職員は勇気があるが、やる気のある職員が少ないのではないか。

**A** 部課長全員を集め、研修報告会をやり、派遣職員が気づいたことを職員に共有をする必要がある。

**Q** 研修企業と何かつながりを持って、本市も取り組むべきでは。

**A** 研修に参加した職員を核として、IT企業の進出を視野に企業と本市の交流の取り組みを加速したい。